

堺区チャレンジ（Challenge）プラン（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

ご意見の要旨		市の考え方
○ 基本的な考え方に関すること		
1	堺区で働く人と地域の方々との交流機会を創出することで、まちの活性化につながる取組を行っていただけないか。	本プランは、区民、事業所等と行政が共にめざす目標・行動指針として策定されており、区内事業所の地域参加を一層推進するための取組を進めてまいります。
2	区内の経済活性化や区民の所得向上という視点が欠けている。企業誘致や人口誘導に係る施策に力を入れることで、税収を増やし、住民サービスを上げるなど、堺区に住み続けることの満足感を向上させてください。	ご指摘の企業誘致や人口誘導は、堺市基本計画 2025 において記述がございます。 堺区のプランは、堺市基本計画 2025 を踏まえ、区民と行政の連携によって、区の魅力発信や地域振興に資する取組を中心に記載しております。
○ 基本方針 1 堺区の魅力と郷土愛に関すること（10～11 ページ）		
3	堺区の歴史・文化資源として、堺旧港や寺院を追加してほしい。	ご意見のとおり、堺旧港や豊富な神社仏閣などの記述を追加します。
4	コロナ終息後を視野に入れ、SNS などの情報発信に力を入れていただきたい。魅力ある情報発信に努めてほしい。	インスタグラムなどの SNS を活用し、区民主体による魅力発信に取り組むとともに、引き続き多様な世代のニーズに応じた適切な情報発信の充実に努めます。
○ 基本方針 2 人と人とのつながりに関すること（12～13 ページ）		
5	自治会加入率の低下の要因として、長く住民が定住しないこと、加入による役割への負担感などが挙げられる。また、コロナ禍において、自治会活動が停滞している状況にある。 これらを解決し得る具体策を示さないといけない。	SNS を用いた情報伝達など、with コロナを踏まえた地域コミュニティの活性化を図ってまいります。また、活動への参加促進や役員の負担軽減など、各自治会の状況に応じ、柔軟に検討してまいります。
6	災害時のことを考えると、自治会の意義を感じるが、それ以外のメリットを感じさせることが必要ではないか。	区民の方に地元の自治会活動を知っていただくとともに、若い世代が地域活動に関心を持ち、参加しやすい体制について検討してまいります。
7	地域に貢献したい人を発掘し、行動につなげるため、一人でも気軽にボランティアに参加できる仕組みづくりを進めてはどうか。	多様なコミュニティへの参加促進は、人と地域の活力を支える重要な取組です。地域貢献を促す仕組みについては、既に取り組まれている団体と一層の連携を図ってまいります。

堺区チャレンジ（Challenge）プラン（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

ご意見の要旨		市の考え方
○ 基本方針3 おもてなしに関すること（14～15 ページ）		
8	利便性の高い窓口サービスの提供として、保険年金課の移転が挙げられているが、窓口数の確保や、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した待合スペースの確保等はできるのか。	<p>ご指摘の窓口数については、可動式のカウンターを設けることで、繁閑に応じた窓口数を確保します。</p> <p>次に、待合スペースについては、これまで他の用務で来庁された方の通路としても利用されていた待合内の動線を改善するなどにより、必要な空間を確保するとともに、抗菌・抗ウイルスの椅子や対面しないベンチなどを採用して、ポストコロナに対応した待合スペースを実現します。</p>
9	窓口の移転より、来庁せずに手続きが終えられるオンライン化を先行して進めてはどうか。	オンライン手続きについては、ICT を推進する市の専門部署と連携し、順次進めています。これらの取組と併せ、窓口改善についても不断に取り組んでまいります。
○ 基本方針4 安全・安心に関すること（16～17 ページ）		
10	策定にあたって、障害当事者又は関係者のご意見を聴いているのでしょうか。例えば、聴覚障害者はサイレンが聞こえません。	プラン推進に当たっては、SDGs やユニバーサルデザインなど、要配慮者の視点を十分踏まえた取組を進めてまいります。
11	若い世代や子どもの頃から、防災活動をはじめとした地域での活動に参加する取組は大切で、子どもや親の意識を変えるきっかけになる。	多感な子どもの頃に地域活動を体験することで、地域社会の一員としての意識づけにつながるものと考えています。今後も、地域の自主防災組織の方々と共に取組を進めてまいります。
○ その他		
12	堺区は沿岸部に位置し、プラスチックごみが風に吹かれ河川や海が汚染される。堺区職員は、環境美化や海洋汚染についてどのように取り組むのか。	環境汚染などの課題解決に向けては、国、自治体、関係団体などが、それぞれの役割分担の下、取り組んでまいります。
13	花や緑が多く、清掃が行き届いた環境は、落書きやごみのポイ捨てなどを抑制し、さらには犯罪率の低下につながる。清掃などのボランティア活動に参加しやすいしくみづくりを進めてはどうか。	花や緑を生かした環境美化については学校などの取組も充実し、一定の成果が持続していると考えます。今後は、一般施策の中で取り組んでまいります。